



戦争を語り継ぐ

※対談の写真は高校生が撮影したものです。



▲対談の様子

▲高校生と記念撮影

8月24日(水)中央区役所(南3西11)区長室で、戦争の恐ろしさ、平和の尊さを若い世代に伝えることを目的に**中央区平和事業**が行われました。戦時中の体験や戦前、戦後の生活などについて足立かずのり憲紀さん(95)、堀万里子さん(88)が板垣昭彦中央区長と対談しました。

また、職場体験学習で参加した札幌新川高等学校の生徒へ、二人から「何が正しいか自分で考え、客観的な議論を」とエールが送られました。

市電を身近に



▲のってコグマもぼくもかわいい♡▲

▲電車を引っ張ろう

▲小学生による吹奏楽

8月28日(日)電車事業所(南21西16)および隣接グラウンドで、**2011市電フェスティバル**が開催されました。

会場では、恒例の「市電と綱引き」やササラ電車前での記念撮影、運転台体験などが行われ、多くの親子連れが市電との触れ合いを楽しみました。

ステージでは近隣小・中学校吹奏楽部の演奏などが披露され、来場者は露店の焼き鳥やビールなどを味わいながら1日を楽しみました。

実践的な訓練を



▲煙道通過訓練を体験

▲初期消火訓練を体験

▲土のう作りを体験

8月31日(水)市立二条小学校(南2西15)グラウンドで**中央区防災訓練**が実施され、中央区内の各町内会や同校児童、企業・団体など約950人が参加しました。

参加者は、東日本大震災の後ということもあってか、緊張した面持ちで、初期消火訓練や応急処置訓練、防災資機材使用訓練、水防工法訓練、煙道通過訓練を、互いに協力しながら積極的に取り組んでいました。

まわしは似合う？



▲優勝した長井くんと御幣

▲高学年の部

▲低学年の部

▲幼児の部

9月9日(金)伏見稲荷神社(伏見2)境内で、幌西地区青少年育成委員会の主催による**幌西地区子ども相撲大会**が行われ、同地区の子ども約50人が参加しました。

大会では、就学前までの幼児の部、小学校1年生から3年生までの低学年の部、4年生から6年生までの高学年の部に分かれて優勝を競いました。高学年の部の優勝者には、神社から御幣が贈られました。